

## 伊吹農業生産組合が 全国優良経営体表彰を受賞！ (11月15日)

現代の農業が様々な課題に直面する中、地域農業の発展に貢献した功績がたたえられ、伊吹農業生産組合が全国優良経営体表彰の集落営農部門において「全国担い手育成総合支援協議会長賞」を受賞されました。

11月15日、長野県松本市で開催された伝達式では、協議会会長から伊吹農業生産組合長の伊富貴忠司さんに表彰状が手渡され、さらなる経営



安定を図り地域における雇用を創出しようと取り組まれていることや、地域農業の元気を地域全体の元気につなげようとする事業展開のあり方に大きな期待が寄せられました。(後列左から4人目が伊富貴さん)

## 貴重な絵画を 坂田小学校に 寄贈いただきました (11月27日)

11月27日、長浜市在住の長田謙治さんから出身母校の坂田小学校に貴重な絵画を寄贈していただいたことに対して、泉市長から感謝状を授与しました。

今回、寄贈されたのは故下倉祺世画伯の絵画150号日展出品作「丘」で、下倉画伯の日本画は大変貴重な存在。長田さんは「本物の絵画を見て感性を



高めてもらうなど、教育のお役に立てば」と、語っておられました。

まいばら

まんすりー  
れぼー



皆さんは「のろし駅伝」をご存じですか。これは県内各地の中世城跡から「狼煙」を上げ、各城跡を順につないで琵琶湖を一周するイベントで、10年前に旧米原町で始まったものです。

好天に恵まれた11月23日、晩秋の空の下、「第10回近江中世城跡琵琶湖一周のろし駅伝」が県内47か所の城跡を守る団体が参加し、開催されました。

県内には1300か所の中世の城跡があると言われていますが、多くは人知れず里山に埋もれているのが現状であり、これらの地域資産を発掘し、磨きをかけてまちづくりに活かそうと各地域で取り組んでいます。

去る10月2日には、福井県と連携した「北国ルート のろし駅伝」も開催し、城跡に造詣が深く、テレビ番組でお馴染みの落語家・春風亭昇太郎匠に「近江お城大使」として就任いただくなど、多方面と連携したイベントとして広がってきました。

このイベントは、地域の歴史資産を活かしたまちづくり活動であるとともに、里山の環境保全にもつながる取り組みでもありますので、今後、この輪がさらに広がることを期待しています。

米原市長 泉峰一

(12月1日記)